

あなたも考えて



みませんか

少子化に歯止めをかけるため 地域社会で支援する子育て

少子化が進むと、わたしたちの生活はどうなるのでしょうか。次のような影響が、心配されま
す。
年金など社会保障制度の問題
現在の社会保障制度は数人で
一人の受給者を支えています。
支え手の人数が減っていくと一
人ひとりの負担が大きくなって
しまいます。例えば、今、支払
っている年金保険料は、自分の
ために積み立てているのではな
く、現在の高齢者に支給するた
めです。現役世代が高齢者を支
える仕組み。現役世代が減り年
金を受け取る人が多くなれば、
支給額を減らさない限り、現役

社会の活力低下をはじめ

さまざまな影響が心配

「元気に外で遊ぶ子どもの姿が減った」「赤ちゃんの声を近所で聞か
なくなった」と感じませんか。少子化で子ども同士はもちろん、親同
士のつながりも薄くなりつつあります。将来、社会の担い手となる子
ども。少子化は地域の結びつきを弱め、わたしたちの生活に深刻な影
響を及ぼします。こうした中、昨年度、次世代育成支援行動計画を策
定。市民へのアンケートを基に、その声が生かされた計画です。ます
ます深刻になる少子化の流れをどう変えていくのか。児童家庭課で話
を聞き、考えてみました（担当は市民編集委員・大沢、伊丹）。
次世代育成支援行動計画についての問い合わせは、児童家庭課 8
90 6277へ。

世代の負担が増すばかりです。
健康保険や介護保険も同じよ
うな問題を含んでいて、若い人
たちの労働力が減り、社会全体
の活力低下が懸念されます。
子どもの社会性低下と地域社
会の希薄化
大人数の子どもで遊ぶ経験が
少なくなり、コミュニケーション
能力の低下が叫ばれています。
また、地域と子どもの関係も希
薄化しています。子どもの成長
を支えてきた地域社会の関係が
薄れ、近所に住む子どもたちの
顔や名前がよく分からないとい
うのが現状ではないでしょうか。
特に、地域活動では子どもも会



公園に子どもが少なくなりました

や育成会が、学校選択制導入に
よって影響を受けており、柔軟
な対応が求められています。地
域やPTAの活動なども、子ど
もが減るにつれ親の負担が重く
なり、仕事との両立に頭を悩ま
せている親も多いと思います。
このように考えただけでも、
実生活の中にさまざまな少子化
の影響が出ています。